

神栖市における有機ヒ素汚染源 調査等についてのお知らせ

発行・編集 環境省 環境リスク評価室、茨城県 環境対策課、神栖市 環境課、(株)鴻池組

総合調査検討会の結果について

6月25日(月)午後には平成19年度第2回国内における毒ガス弾等に関する総合調査検討会を開催しました。神栖関連の主な内容は次の通りです。

(1)地下水モニタリングの状況について

2007年春季の地下水モニタリングの結果について報告しました。主な内容は以下のとおりです。

- ・ 2006年10月の多雨の影響により、全体的に地下水位が上昇したが、その後は引き続き減少傾向である。
- ・ A 井戸近傍地域では、一部のモニタリング孔においてジフェニルアルシン酸の濃度が冬季よりも増加した。
- ・ B 地区については、汚染範囲はこれまでと大きな違いはなく、汚染は深度30mを主体としている。

(2)汚染メカニズム解明調査の結果について

環境省では、平成15年6月の閣議了解、同年12月の閣議決定に基づき、原因究明、健康被害への対応等の取組を進めてきたところですが、これまでの汚染メカニズム解明調査の結果として、「地下水汚染シミュレーション等報告書」がとりまとめられました。報告書の概要は別紙でお示ししますが、ポイントは以下のとおりです。

- ・ これまでの地下水モニタリング及び地下水汚染シミュレーションの結果を踏まえると、B 地区等には別の汚染源が存在する可能性は低く、平成5年6月以降に投入されたと推定されるコンクリート様の塊が地域全体の地下水汚染源である可能性が高い。
- ・ 旧軍関連施設及び旧軍毒ガス兵器等に関する情報収集調査の結果を踏まえると、有機ヒ素化合物は神栖市内にかつて存在していた旧軍関連施設において製造・保有されていたものではない。

検討会の資料は環境省ホームページに掲載します。

http://www.env.go.jp/chemi/gas_inform/sonota_singi/sonota01.html

掘削現場における当面のスケジュールについて

掘削テント内の清掃作業、電気設備撤去作業は、6月末日に終了いたしました。

7月2日より、テント上屋部の解体・撤去作業を約2週間かけて行う予定で、その後、テント部材の搬出、テント基礎の解体・撤去等の作業を進めていくこととしています。

掘削現場における当面のスケジュール(予定)は次表のとおりです。

テント上屋解体作業は、大型クレーン車を使用するとともに、搬出時には大型トラックの通行があります。出入りの際には交通誘導員を増員して、万全の体制で対応いたしますので、よろしくお願いいたします。

掘削現場における当面のスケジュール(予定)

	7月			8月			9月		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
テント上屋撤去工	■								
テント基礎撤去工		■							
ヤード復旧準備工					■				
ヤード復旧工							■		



テント内部清掃状況【6月19日現在】

次号(第62号)は、平成19年8月1日発行とさせていただきます。

お問い合わせ・御質問は下記の窓口へ御連絡下さい。

鴻池組現場事務所	0299-92-0862	
環境省環境リスク評価室	03-5521-8262	(http://www.env.go.jp)
茨城県環境対策課	029-301-2966	(http://www.pref.ibaraki.jp)
神栖市環境課	0299-90-1146	(http://www.city.kamisu.ibaraki.jp)

茨城県神栖市における汚染メカニズム解明 のための調査の結果について

地下水汚染シミュレーション等報告書の概要

(平成19年6月25日 第2回国内における毒ガス弾等に関する総合調査検討会にて決定・公表)

- ◆ A井戸詳細地下水汚染シミュレーションの結果、A井戸南東90m地点で発見されたコンクリート様の塊がA井戸の汚染源となり得ることが再現された。また、予測解析の結果、A井戸周辺の地下水中の有機ヒ素化合物濃度は、約60年後に0.01mg-As/L程度未満になる結果となった。
- ◆ ABトラック広域地下水汚染シミュレーションの結果、コンクリート様の塊がB地区、ABトラック南西地域の深層部の地下水汚染の汚染源であることが示唆された。
- ◆ B地区詳細地下水汚染シミュレーションの結果、B地区の浅層部の汚染は、過去に農業用井戸の揚水及び涵養などの水利用がなされたことが影響しており、コンクリート様の塊がB地区全体の地下水汚染源になりうることが示唆された。
- ◆ これまでの地下水モニタリング及び地下水汚染シミュレーションの結果を踏まえると、B地区等には別の汚染源が存在する可能性は低く、平成5年6月以降に投入されたと推定されるコンクリート様の塊が地域全体の地下水汚染源である可能性が高い。
- ◆ 旧軍関連施設及び旧軍毒ガス兵器等に関する情報収集調査の結果を踏まえると、有機ヒ素化合物は神栖市内にかつて存在していた旧軍関連施設において製造・保有されていたものではない。